

KOIZUMI

CDラジオ

型番 SAD-4701

家庭用

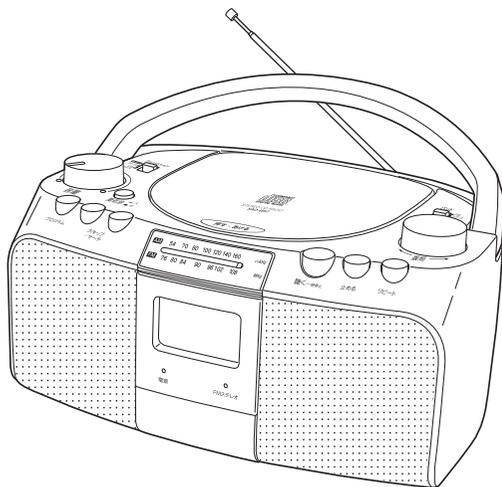
日本国内専用
Use only in Japan

取扱説明書

(保証書別途添付)

このたびはコイズミCDラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。商品を安全に正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4
各部のなまえ	5
電源について	6
家庭用電源で使うには	6
乾電池で使うには	6
CDを聴く	7~9
ディスプレイの表示について	7
リピート演奏	8
プログラム演奏	9

ラジオを聴く	10
外部音声機器を聴く	11
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	11
お手入れのしかた	12
仕様	12
故障かな?と思われるときは	13
アフターサービスについて	14
お客様の個人情報のお取り扱いについて	15
お客様相談窓口	15

小泉成器株式会社

安全上のご注意

*ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

*ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください



電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする
電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



万一、本体を落としたり、破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



雷が鳴ったら、機器の金属部や電源プラグに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。
使用しているときはすぐに機器から離れてください。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



電源はAC100V専用コンセントを使用する
火災・感電の原因となります。

本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない
お子様のいるご家庭では特にご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



安全上のご注意

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなる場所に置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる
乾電池の発熱・破裂、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておく

火災の原因となることがあります。



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときや家庭用電源で使用するときは、乾電池を取り出しておく

乾電池の液もれて回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。

持ち運びするときは、アンテナをたたむ

伸ばしたまま持ち運びするとアンテナが引っかかったり、当たるなどしてケガの原因となることがあります。

幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。

ご使用になる前に

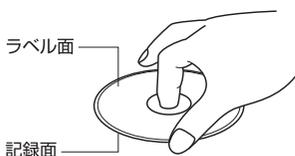
CDについて

CDの種類

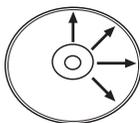
-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA(Compact Disc Audio)フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特殊形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。



※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



ご注意

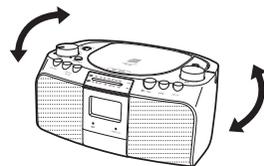
円形以外(ハート型など特殊形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

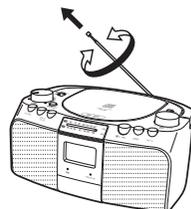
AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内蔵)



FM放送の場合

できるだけ高いところにFMアンテナを張ってください。



ご注意

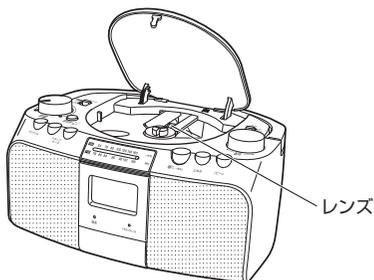
● 次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- ちりやほこりなどの多い場所。
- 風呂場など湿気の多い場所。
- テレビやチューナーなどのそば。
雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- 温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。
その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- レンズにほこりがつかないように使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。
- 本体の分解・改造は絶対にしないでください。

結露について

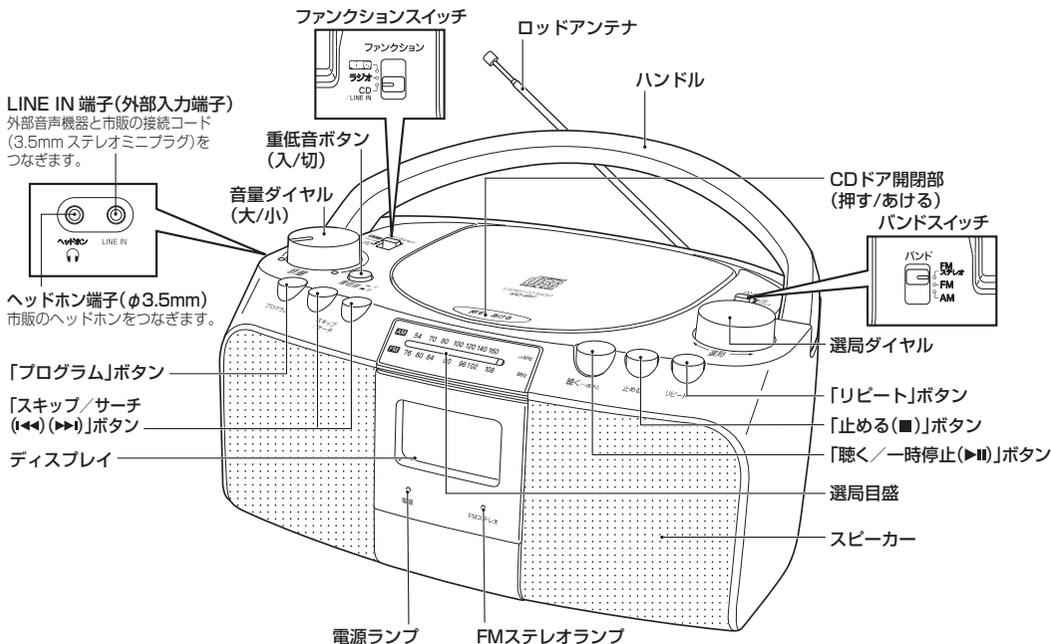
周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。

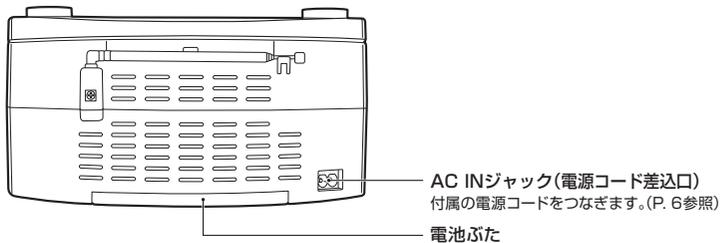


各部のなまえ

本体



背面



付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。



電源コード



取扱説明書 (本書)



保証書

電源について

家庭用電源で使うには

1. 電源コードの供給プラグを本体のAC INジャックへ差し込む。
2. 電源プラグをコンセントへ差し込む。
 - ファンクションスイッチが[電源切]になっていることを確認する。



付属の電源コード
※付属の電源コードはSAD-4701専用です。
他の製品には使用しないでください。

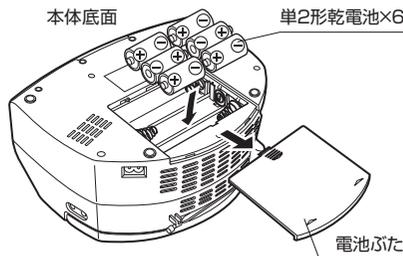
ご注意

- 電源コードを抜き差しするときは、ファンクションスイッチを[電源切]にしてから行ってください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。
電源コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

乾電池で使うには

※本体から電源コードを取り外してください。

1. 電池ぶたを開ける。
2. 単2形アルカリ乾電池6本(別売)を図のように入れ、電池ぶたを閉める。



ご注意

- 乾電池の破損・液もれ防止のために次のことをお守りください。
- 長期間使用しないときや家庭用電源で使用するときは、乾電池を取り出しておく。
 - 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄する。
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
 - ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れる。
 - 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしない。

乾電池の交換目安

乾電池が消耗してくると、CDが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。

このようなときは新しい乾電池と交換してください。

CDを聴く

※CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。
ご使用前に保護シートを取り外してください。

1. ファンクションスイッチを
[**CD** /LINE IN]にする。

- 電源ランプが点灯します。

2. **押す - あける** を押してCDドアを開け、
CDをセットする。

3. **押す - あける** を押さえて、
CDドアを閉める。

- 総曲数が表示されます。

4. **▶||** を押す。

聴く/一時停止

- 1曲目から演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると自動停止します。

<ディスプレイ>



(例) 総曲数: 12曲の場合

<ディスプレイ>

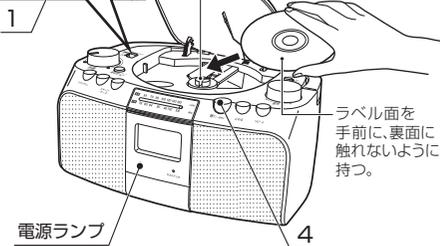


演奏中

ファンクションスイッチ



CDを中心軸に
合わせ、CD穴の
近くを押す。



ラベル面を
手前に、裏面に
触れないように
持つ。

ディスプレイの表示について

ディスプレイに「NoCd」「Err」が表示される場合、以下の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか?
- CDの裏表を間違えていませんか?
- レンズが汚れていませんか? (P. 12参照)
- CDが汚れたり、傷ついていませんか?
- 使用できないCDを挿入していませんか? (P. 4参照)

音量を調節する	<p>音量ダイヤルを回す。</p> <p>音量</p>	曲の頭を探す (スキップ)	<p>演奏中/一時停止中に</p> <p>◀◀ ▶▶ を押す。</p> <p>スキップ / サーチ</p> <p>停止中に</p> <p>◀◀ ▶▶ を押して曲の頭出しを スキップ / サーチ した後、▶ を押す。</p> <p>聴く/一時停止</p> <p>▶▶ …演奏中の曲の次の曲番の 頭出しになります。</p> <p>◀◀ …演奏中の曲の頭出しになります。 2回押すと演奏中の前の曲の頭出し になります。</p>
演奏を止める	<p>◻ を押す。</p> <p>止める</p>		
一時停止する	<p>▶ を押す。</p> <p>聴く/一時停止</p> <p>● 演奏に戻るには もう一度押す。</p> <p><ディスプレイ></p> <p>点滅</p>		
早送りする 早戻しする	<p>演奏中/一時停止中に</p> <p>◀◀ ▶▶ を押し続ける。</p> <p>スキップ / サーチ</p> <p>● 演奏に戻るにはボタンから指を離す。</p> <p>▶▶ …早送りになります。</p> <p>◀◀ …早戻しになります。</p>		

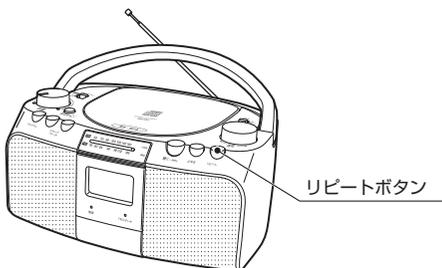
リピート演奏

演奏中/一時停止中/停止中に

○を押して再生モードを選ぶ。

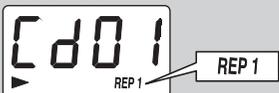
リピート

- 押すごとに再生モードが変わります。



<ディスプレイ>

1曲リピート演奏 [REP1]



全曲リピート演奏 [REP ALL]



通常演奏



- 1曲リピート演奏 [REP1] …………… お好みの1曲を繰り返し演奏します。
- 全曲リピート演奏 [REP ALL] …… 全曲を繰り返し演奏します。

CDを聴く

プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

停止中に

1.  を押す。
プログラム

2.  で
スキップ / サーチ
お好みの曲を選び、
 を押す。
プログラム

3. 上記2の操作を繰り返し、
予約していく。
• 最大20曲まで予約できます。

4.  を押す。
聴く / 一時停止
• プログラム演奏が始まります。

(例) プログラム番号1に
曲番号3を予約

(ディスプレイ)

0 100
PROG

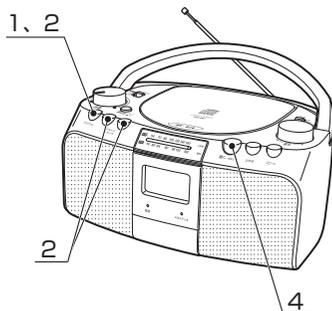
0 103
PROG
[曲番号3]を選ぶ

0200
PROG

⋮

[プログラム演奏中]

00:02
PROG
点灯



予約したプログラム
内容を変更する

プログラム演奏中に

1.  を押す。
止める
2.  で、
プログラム
変更したいプログラム番号を選ぶ。
3.  で、
スキップ / サーチ
お好みの曲に変更し、 を押す。
聴く / 一時停止
(プログラム番号1からプログラム演奏が始まり
ます。)

プログラム内容を
確認する

プログラム演奏中に

1.  を押す。
止める
2.  を押す。
プログラム
(押すたびに予約順にプログラム内容が表示されます。)
※再びプログラム演奏に戻るには
 を押す。
聴く / 一時停止

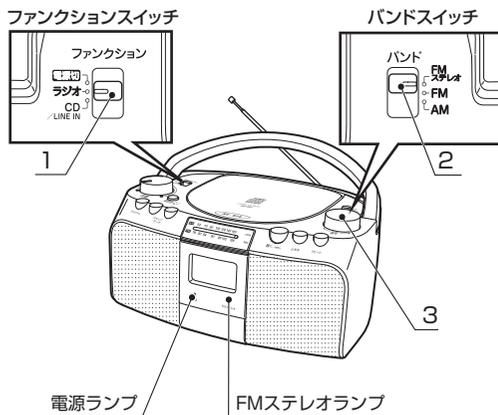
プログラム演奏を
終了する

プログラム演奏中に

1.  を押す。(プログラム内容は保持)
止める
※保持されたプログラム内容を再度演奏する
場合は、 を押してから  を押す。
プログラム
聴く / 一時停止
2.  を2回押すと、プログラム演奏が
止める
解除されます。

ラジオを聴く

1. ファンクションスイッチを[ラジオ]にする。
 - 電源ランプが点灯します。
2. バンドスイッチで[FMステレオ]/[FM]/[AM]を選ぶ。
3. 選局ダイヤルでお好みの局を選ぶ。



- バンドスイッチで[FMステレオ]を選択時、FMステレオ放送を受信すると、点灯します。

FMステレオ放送で
雑音が多い場合

バンドスイッチで[FM]に切替える。
(ステレオになりませんが、聴こえやすく
なることがあります。)

ラジオを切るとき

ファンクションスイッチを
[電源切]にする。

外部音声機器を聴く

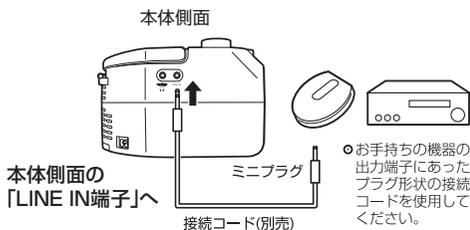
■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

1. 本体側面のLINE IN端子と外部音声機器の音声出力端子を接続コード(別売)でつなぐ。

2. ファンクションスイッチを
[**CD** / LINE IN]にする。

- 電源ランプが点灯します。

3. 外部に接続した音声機器を再生する。



音量に過不足を感じるとき

本機と外部に接続した音声機器の両方の音量を調節する。

※外部に接続した音声機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

外部演奏を止める

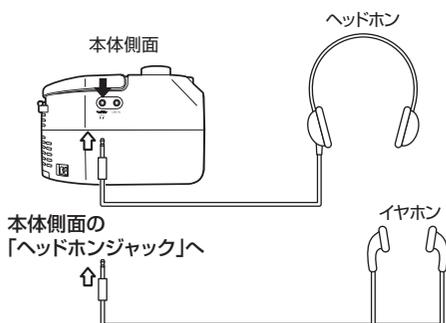
1. 外部に接続した音声機器を止める。
2. 本機ファンクションスイッチを[**電源切**]にする。

市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンを本機につないで、演奏を聴くことができます。

つなぎかた

市販のヘッドホン/イヤホン
(φ3.5mmのステレオミニプラグ)



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンを本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

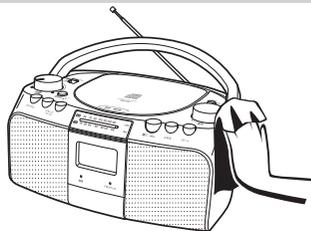
乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。



レンズのお手入れ

ごみやほりごりがついた場合

レンズを市販のブローアードで2~3回吹き、ブローアード先端のブラシでごみやほりごりをはき出します。最後にもう一度レンズをブローアードで吹いてください。

ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



仕様

●CD部

チャンネル数	2チャンネル(ステレオ)
再生可能ディスク	CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA

●ラジオ部

受信周波数	FM 76 ~ 108MHz AM 522 ~ 1629kHz
アンテナ	FM ロッドアンテナ AM フェラリットバーアンテナ内蔵

●共通部

実用最大出力	1W + 1W (JEITA)	電池持続時間 (JEITA規格)	ラジオ受信時 約80時間 CD再生時 約12時間
スピーカー	7.7cm (8Ω) × 2	消費電力	9W
入出力端子	ヘッドホン端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ) LINE IN端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ)	最大外形寸法	約252(幅) × 203(奥行) × 127(高さ) mm
電源 (2電源方式)	AC100V 50/60Hz (付属電源コード使用時) 電池 DC9V (単2形アルカリ乾電池6本(別売))	質量	約1.4kg (乾電池含まず)
		電源コードの長さ	約1.7m
		付属品	電源コード、取扱説明書(本書)、保証書

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われたときは

症状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	電源コードが抜けていませんか？	電源コードを確実に差し込んでください。
	乾電池は正しい方向で入っていますか？	乾電池の +、- を確かめてください。
音が出ない。	ヘッドホン端子に電源コードが差し込まれていませんか？	電源コードを抜いてください。
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに「NoCd」「Err」と表示する。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか？	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。(P. 12参照)
	レンズに露や水滴がついていませんか？	CDを取り出してCDドアを開け、1時間程置いてください。
	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CD-R、CD-RWが入っていませんか？	CD-R、CD-RWによっては正常に使用できない場合があります。
CDの音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。
	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。
保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- CDラジオの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際このようなことはありませんか	<ul style="list-style-type: none">●電源コードや電源プラグが異常に熱い。●電源コードに深いキズや変形がある。●コゲくさい臭いがする。●その他の異常、故障がある。	▶ ご使用中 このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2016年8月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)